

競技注意事項

◎ 新型コロナウイルス感染防止対策について

- ① 参加者は、「JAAF 陸上競技活動再開のガイダンス」について熟読すること。
- ② 大会2週間前から体調管理チェック表を記入し、大会当日、各大学の代表者が開場時刻前までにメールに添付し、東北学連 (tohokugakuren2020@gmail.com) に提出する。
※以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（発熱、咳、咽頭痛など）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ④ 当日、37.5度以上の熱のある者の参加を認めない。
- ⑤ 3密回避行動を心掛ける。トラック種目は、フィニッシュ後、速やかに周囲の競技者との距離をとる。フィールド競技者は、待機場でのソーシャルディスタンスに気をつけること。
- ⑥ 滑り止め（炭酸マグネシウム）は、各自準備する。
- ⑦ 手洗い・手指消毒を徹底する。消毒液は各自で準備することが望ましい。
- ⑧ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑨ 運動時を除きマスクの着用を義務とする（移動中、待機中もマスクを着用する）。
競技場内通路や、トイレ階段では、右側通行を励行し、他人との接触を避ける。
また、スタンドでは、左右の座席を2席以上、前後は1列以上空けて座ること。
- ⑩ チーム関係者以外（家族／一般）の観戦は認めない。
- ⑪ 取得する個人情報について適正に取り扱う。大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがある。大会に参加する選手はこれに同意の上、参加すること。

1、競技規則について

本大会は、陸上競技活動再開のガイダンス、2020年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2、ウォーミングアップについて

- (1) 練習は、補助競技場を各自使用すること。混み合う可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。
- (2) 本競技場のバックストレートを開放する。競技の妨げにならないよう、また、開放時間を厳守して使用すること。開放中であっても、使用については、審判の指示に従うこと。

1日目：12：15～13：15（ハードル設置）

14：00～15：45

2日目：7：15～9：45

9：45～10：40（バックストレート中央～第2曲走路中央外側）

11：20～12：30（第1曲走路中央外側～バックストレート中央）

12：30～13：50

13：50～14：30（バックストレート中央～第2曲走路中央外側）

3日目：7：15～9：55

10：30～

- (3) 雨天走路は原則として開放しない（狭い雨天走路での事故防止、3密回避が目的のため）。ただし、荒天時のみ、雨天走路をジョグとストレッチに限り開放する場合がある。

(4) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。

3、招集について

- (1) 招集所での招集は行わず、WEB 招集 (Google フォーム上にて必要事項を記入して行う) とする。
- (2) 各種目の WEB 上の招集開始時刻及び招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載してある。トラック種目は、組毎に行うので注意。
- (3) 2 種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、先に行われる種目の Google フォームに記入すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた者 (Google フォーム記入遅れ) は、失格として処理する (当該種目のみ) ので十分注意すること。
- (5) リレー競技は、オーダー用紙を招集完了時刻1時間前までに Google フォームに記入すること。

4、欠場について

- (1) 競技者の欠場は、原則として代表者会議で受け付けたもののみとする。
- (2) 当日やむなく欠場する場合には、招集完了時刻前までに不出場届を Google フォームにて記入すること。その届け出た種目に限り欠場を認める。
また、リレー競技の欠場については、招集完了時刻1時間前までに不出場届を上記同様の方法で提出すること。

5、アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは2020年度当連盟作成のものを使用すること。
但し、5000m、10000m、3000mSC、10000mWは通しビブス (当日、スタート地点に準備) を使用する。ビブスはレース終了後、回収する。
跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、スタート地点にて準備してある腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に取り付けること。

6、番組編成及び、走路・競技順について

- (1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順による。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ及びレーン順は、主催者が公平に番組編成を行い、各大学に WEB 上で連絡する。

7、スタートについて

- (1) スターターの合図は、英語 (On your marks、Set) で行う。
- (2) 不正スタートについては、不正スタートを行った場合、ただちに競技者は失格とする。但し不適切行為を行った場合、1回目は警告に留めるが、同一の競技者が2回目以降 (別の競技でも) 、同様な行為を行った場合それぞれ不正スタートを行ったものとして扱うので、注意すること。

8、フィールド競技について

- (1) フィールド競技における持ち時間は各種目1分とする。
- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4
走高跳	男	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90
	女	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65

棒高跳	男	3m50	3m60	3m80	3m90	4m00
	女	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00

※走高跳は、以後最後の一人になるまで3cmきざみとする。

※棒高跳は、以後最後の一人になるまで10cmきざみとする。

- (3) 走高跳及び棒高跳において1位が2名以上出た場合、同成績の競技者全員が成功した次の高さでもう1回試技を行い、同成績者がいずれも成功するか失敗して決定に至らなかった場合は、走高跳は2cm、棒高跳は5cmバーをそれぞれ上げ下げして試技するものとする。(第181条9を参照のこと。)
- (4) 三段跳において、踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は12m、女子は9mとり、競技を行う。

10、競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んで서는ならない。ただし、投てき物及び棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。投てき物については競技開始1時間前に競技役員の検定を受けること。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。

11、抗議について(競技規則第146条参照)

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表(LINE送信)されてから30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、担当総務員を通して口頭で審判長になさなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えてジュリーに上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

12、表彰について

- (1) 各種目優勝者には優勝メダルを、8位までの入賞者には賞状を授与する。3密回避のため表彰式は行わない。各日競技終了後に大学毎にまとめて授与する。
- (3) 最優秀選手賞については、今大会中における記録を参考として、大会会長・大会委員長・大会副委員長の3者により決定する。

13、その他

- (1) 各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。集団で待機することのないようにする。そのため、ブルーシート等を広く使った場所取りは禁止とする。
雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- (2) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (3) 大会期間中、競技者は本部前の通行を禁止する。
- (4) ユニフォームは必ず各大学一種類のものに統一して、着用すること。但し、統一できないもので、代表会議で承認を得たものは、着用を認める(リレーも含む)。
- (5) 開閉会式は、アナウンスのみで行う。
- (6) ゴミは各自持ち帰ること。
- (7) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合はその大学から弁償代を徴収する。
- (8) 開門・閉門時間は以下の通りとする。なお、競技の進行により変更の場合もある。

(開門時間)

(閉門時間)

第1日目………8月8日(土)	12:15	18:30
第2日目………8月9日(日)	7:15	18:30
第3日目………8月10日(月)	7:15	12:00

(9) 集団応援は禁止とする。バック及びサイドスタンドはフィールド種目のコーチングにおいてのみ開放する。

(10) 今大会、競技会の円滑な運営の都合上、一部の長距離種目に制限時間を設ける。制限時間については、下記の通りとし、制限時間内に競技が終了できない場合は競技を終了させる。なお、制限時間での周回を最後の周回とする。

種目	制限時間
男子5000m	20分
男子10000m	40分
女子5000m	25分
女子10000m	50分
男女10000mW	65分

(11) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2020年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。